

第七十六回帝國議會 衆議院

貸家組合法案外二件委員會議錄(速記)第二回

付託議案 貸家組合法案(政府提出)(第三七號) 住宅營團法案(政府提出)(第三八號) 醫療保護法案(政府提出)(第三九號)

會議

昭和十六年二月八日(土曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君 理事 小畑虎之助君 理事 野方 野口 喜一君

青木 作雄君 大内竹之助君 川崎巳之太郎君 鹽川 正藏君 瀧澤 七郎君 富吉 榮二君 西村 茂生君 眞鍋 儀十君

池崎 忠孝君 大島 寅吉君 喜多壯一郎君 田代 正治君 土屋清三郎君 中山 福藏君 一松 定吉君 山川頼三郎君

二月七日委員工藤鐵男君及高見之通君辭任ニ付其ノ補闕トシテ内藤正剛君及田代正治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

厚生次官 兒玉 政介君 厚生省社會局長 熊谷 憲一君 厚生書記官 中島 賢藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貸家組合法案(政府提出)

住宅營團法案(政府提出)

醫療保護法案(政府提出)

○添田委員長 是ヨリ開會致シマス、最初ニ政府ヨリ提案理由ノ説明ヲ願ヒマス

○兒玉政府委員 議題トナツテ居リマス

案ノ提案ノ理由ハ既ニ本會議デ申上ゲタノデアリマスガ、茲ニ各法案ノ内容ノ大體ヲ一應申上ゲタイト存ジマス、最初ニ貸家組合法案デアリマスガ、此ノ法案ハ大體カラ申シマスレバ、類似ノ組合立法デアリマス商業組合法ニ倣ツテ立案サレタノデアリマシテ、以下其ノ主要ナ事項ニ付テ御説明申上ゲタイト存ジマス

第一ニハ、貸家組合ノ目的トシマス所ハ、組合員ノ貸家ノ供給ヲ圓滑ナラシメマシテ、現下ノ住宅難打開ノ爲ニ、貸家投資家トシテノ職分ヲ全ウサセマスト共ニ、貸家經營ノ適正化ヲ圖リマシテ貸家關係ヲ明朗ナラシムルコトニアルノデアリマス

第二ニハ、組合ハ貸家ノ所有者及ビ經營者ヲ以テ組織スルコトトシ、尙ホ此ノ外新タニ貸家ノ建設ヲサントスルモノヲモ、組合ニ加入セシムル途ヲ開イテ、組合ノ共同施設ヲ通ジテ、貸家建設上諸般ノ便益ヲ享受セシムルコトニ致シタルデアリマス

第三ニ、組合ノ事業ノ主ナモノハ、貸家ノ建設及ビ經營ニ關スル共同施設ト、貸家ノ賃貸條件等ノ貸家經營ニ關スル統制トデアリマス、共同施設トシマシテハ、例ヘバ貸家ノ建設及ビ修繕ニ必要ナ土地及ビ資材ノ共同購入、組合常備ノ大工ノ設置、家賃ノ共同取立、貸家斡旋所ノ設置ト云フヤウナモノデアリマス、又貸家ノ賃貸條件等ノ統制トシマシテハ、造作ノ修繕費ノ負擔區分ノ統制トカ、敷金ノ統制トカ云フヤウナコトデアリマス、尙ホ組合ガ右ニ述ベマシタヤウナ事業ノ内、或ルモノヲ行フコトニナツテ居ラナイ場合ニ於キマシテ、行政官廳ガ特ニ必要アリト認メマスレバ、之ヲ行フコトヲ命ジ得ルコトトシ、又組合ガ貸家ノ賃貸條件等ノ統制ヲ行ヒマス場合ニ於キマシテ、行政官廳ガ特ニ必要アリト認メマスレバ、組合員ハ申スニ及バズ、組合員以外ノ者ニモ、此ノ統制ニ從フベキコトヲ命ジ得ルコトト致シタルデアリマス

第四ニハ、貸家組合ニ對シマシテハ、所得稅法人稅及ビ營業稅ヲ免除シマス外、組合ノ貸家及ビ貸家用地ニ付キマシテ、國稅ノ登錄稅及ビ地方稅ノ不動産取得稅ニ關シテ、必要ナル減免ヲ行フコトニ致シタルデアリマス

第五ニハ組合ノ設立ニハ、原則トシマシテ所定地區内ニ於テ、組合員タル資格ヲ有スル者ノ過半數ノ同意ヲ要スルノデアリマシテ、土地ノ狀況ニ依リ、貸家所有者ガ多ク、其ノ過半數ノ同意ヲ得ルト云フコトガ極メテ困難ナ場合、其ノ他特別ノ事情ノアリマス時ハ、其ノ數ヲ命令ノ定ムル所ニ依ツテ減ジ得ルコトト致シタルデアリマス

以上申述ベマシタ以外ノ事項ハ、大體ニ於キマシテ商業組合ノ例ニ倣フコトト致シタノデアリマシテ、是等ノ各事項ニ付テハ、說明ヲ省略サセテ戴キマス、尙ホ商業組合法ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク營業ノ統制ヲ事業トスル統制組合ト云フ制度ヲ設ケ、

此ノ種ノ組合ニ關シテハ、所謂強制設立、或ハ強制加入ノ制度ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、貸家組合ニ於キマシテハ、貸家ノ建設及ビ經營ニ關スル共同施設ヲ行フコトヲ以テ、本組合制度設置ノ眼目トシテ居リマスノデ、強制設立又ハ強制加入ノ制度ヲ設ケザルコトニ致シタルデアリマス、尙ホ組合ハ共同ノ目的ヲ達シマスル爲メ、聯合會ヲ設ケ得ルノデアリマス

最後ニ近年都市ニ於キマシテハ、諸般ノ事情ニ依リマシテ「アパート」ノ類ノ貸室ガ増加シテ居リマシテ、是等ノ「アパート」下宿屋ノ如キ貸室モ、住宅政策ノ上ニ於テ重要トナツテ參ツテ居リマスノデ、是等ノ貸室業者ニ付キマシテモ組合ヲ組織セシメ、貸室ノ建設ヲ増進シ、經營ノ適正ヲ圖ラシムルコトト致シタルデアリマス、而シテ是等ノ貸室ノ場合ハ、普通ノ貸屋ト比較シマシテ、經營ノ形態又内容等ニ於キマシテ、著シク趣キヲ異ニスルモノガアリマスノデ、貸家組合トハ別個ニ貸室組合ヲ設ケシムルコトト致シタルデアリマス、以上ガ貸家組合法案ノ大要デアリマス

次ニ住宅營團法案ノ大要ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス、此ノ法案ハ大體ニ於キマシテ、庶民金庫法ニ倣フテ立案サレタモノデアリマス、其ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、先ツ第一ニハ住宅營團ノ目的トシマス所ハ、勞務者、官公吏、軍人、教員或ハ會社事務員等ノ比較的少額ナル所得ヲ有スル者ニ對

シマシテ、所要ノ住宅ヲ供給スルコトニア
ルノデアリマス、住宅營團ノ事業計畫ニ於
キマシテハ、大體ニ於テ、二十坪、十五坪
及ビ十坪ノ三種ノ規模ノ住宅ヲ建設スル
豫定ニ致シテ居ルデアリマス

次ニ住宅營團ノ資本金ハ一億圓ト致シマ
シテ、政府ニ於テ其ノ全額ヲ出資スルコト
ニ定メタデアリマスガ、是ハ差當リ今後
五箇年ノ間ニ約三十万戸ノ住宅ト、其ノ住
宅居住者ノ爲ニ、必要ナル各種厚生施設等
ヲ建設スルニ要スル資金ノ總額ガ、約十一
億圓ニ上ル見込デアリマシテ、其ノ中固定
的ナル用途ニ充テラレマスモノ、即チ土地
ノ購入費等ト初度調辦費等ヲ加ヘマスト、
一億圓見當ト見積ラレマスノデ、此ノ額
ヲ資本金額ト定メテ次第デアリマス

政府出資ノ拂込ハ初年度ニ於キマシテ二
千万圓デアリマシテ、爾後毎年住宅營團ノ
事業計畫ニ即應シテ、拂込マレルコトニ相
成ツテ居リマス、尙ホ先程モ申述ベマシタ
如ク、住宅營團ノ資本ノ大部分ハ、之ニ依
リマシテ貸家經營及ビ各種ノ厚生施設ノ用
ニ供シマス、敷地ヲ購入スルコトトナリマ
ス關係上、政府カラ住宅敷地トシテ、適當
ナル國有地ノ出資ヲナシ得ルコトト致シマ
シタガ、初年度ニ於キマシテハ、政府ヨリ
ノ二千万圓ノ拂込ノ中、五百万圓ニ相當ス
ル國有地ノ出資ガアル豫定ニ相成ツテ居リ
マス

第三ニハ住宅營團ニ對シマシテハ、其ノ
公益性ニ鑑ミテ、所得稅、法人稅及ビ營業
稅ヲ免除致シマス外、國稅ノ登錄稅及ビ地
方稅ノ不動産取得稅ニ關シテ、必要ナル免
稅ヲナスコトニ致シタデアリマス

第四ニ住宅營團ノ役員ニ關シマシテハ、

庶民金庫ノ場合ト異リマシテ、副理事長ヲ
置クコトニ致シマシタガ、右ハ此ノ營團ノ
事業分量ガ相當大キク、役職員ノ數モ相當
ニ多數ニ上ル見込デアリマス關係上、理事
長ヲ輔佐シテ事業ノ圓滑ナル遂行ヲ期スル
爲メ、副理事長ヲ置クノ必要アリト認メタ
ルニ困ルモデアリマス

第五ニ住宅營團ノ行ヒマス業務ハ、第一
ニハ住宅ノ建設及ビ經營デアリマス、先程
モ申上ゲマシタ通り、住宅營團ハ差當リ今
後五箇年間ニ、約三十万戸ノ住宅ヲ建設ス
ル計畫アリマシテ、其ノ中二十坪ノモノ竝
ニ十五坪ノモノ、合計二十万戸ハ原則ト致
シマシテ、土地附ノ分讓ノ方式ニ依ルノデ
アリマス、又十坪ノモノ十萬戸ハ原則トシ
テ賃貸ノ方式ニ依ツテ經營シテ行ク豫定デ
アリマス、住宅政策上竝ニ住宅經營經濟上ノ
見地カラ言ヒマシテ、又民間ノ貸家投資ヲ
抑制シナイヤウニトノ考慮カラ致シマシテ、
原則トシテ分讓ノ方法ニ依リ、自己住宅ヲ
所有セシムル方式ヲ採ルコトヲ適當ト認メ
タ次第デアリマス、次ニ本營團ハ、住宅ノ
建設及經營ノ受託事業ヲ行フデアリマス、
是ハ例ヘバ工場等ノ事業主ガ、勞務者住宅
ヲ建設シマス場合ニ、其ノ建設ノ委託ヲ受
ケ、又其ノ出來上リマシタ住宅ノ經營ノ委
託ヲ受ケルト云フヤウナ場合デアリマシテ、
之ニ依ツテ住宅ノ集團的建設經營ノ妙ヲ發
揮スルヤウニ致シテ參リタイト考ヘテ居リ
マス

又本營團ニ於キマシテハ、一團地ノ住宅
ヲ建設シ又ハ經營シマス場合ニ於テ、之ニ
附帶シテ居住者ノ生活ニ必要ナル各種ノ厚
生施設ヲ、建設經營シマシテ、其ノ福利増
進ヲ圖ラシメルコトニ致シタデアリマ

ス、其ノ他住宅營團ニ於キマシテハ、或ハ
貸家組合等ニ住宅建設ノ爲ノ資金ノ一部ヲ
貸付ケルトカ、或ハ住宅ノ賣買及ビ貸借ノ
仲介ヲ行フトカ、住宅ノ供給竝ニ之ニ關聯
シテ、必要ナル事業ヲ行フコトニシタノデ
アリマス、次ニ住宅問題ニ於キマシテハ、
用地ノ確保ヲ圖ルコトガ、先決ノ重要問題
タルコトニ鑑ミマシテ、住宅營團ニ於テ其
ノ住宅及ビ厚生施設ノ用ニ供スル土地ニ付
テハ、土地收用法ニ依リ、之ヲ收用又ハ使
用シ得ルコトト致シタデアリマス、
此ノ外住宅營團ノ用地取得ヲ確保シマス方
法トシテ、地方公共團體ノ所有地ヲ公入札ニ
依ラズ、隨意契約ニ依ツテ住宅營團ニ讓渡又
ハ貸付スルコトヲ得ルコトニ致シマシタ

第六ニ、資本金ノ十倍マデ住宅債券ヲ發行
シ得ルコトト致シタデアリマシテ、差當
リ今後五箇年間ニ資本金ノ一億圓ト、其ノ
十倍マデノ住宅債券ヲ發行トニ依リマシテ、
其ノ住宅及ビ附帶厚生施設ノ建設等ノ爲
メ、必要ト考ヘラレル約十一億圓ヲ賄ツテ
行ク計畫ト致シテ居リマス、尙ホ住宅債券
ニ關シマシテハ、其ノ元本ノ償還及ビ利息
ノ支拂ヒニ付キマシテ、政府ノ保證ヲ受ケ、
之ニ依ツテ資金調達ノ確保ヲ圖ルコトニシ
タノデアリマス

第七ニ、本營團ハ一定ノ條件ノ下ニ出資
者タル政府ニ對シテ、剩餘金ノ配當ヲナシ
得ルコトヲ定メテ居リマスガ、元來住宅營
團ノ住宅供給事業ニ依リマシテ、相當ノ利
益ヲ擧ゲ、之ニ依ツテ剩餘金ノ配當ヲ行フ
ガ如キコトヲ期待シマスコトハ、差當リノ
所極メテ困難ナルモノト考ヘラレルノデア
リマスガ、將來ニ於キマシテ、若シ剩餘金
中カラ、損失填補ノ爲ノ積立金、職員退職

給與積立金等ヲ控除シテ、尙ホ剩餘ノアリ
マス場合ニハ、出資者タル政府ニ剩餘金ノ
配當ヲナスコトヲ得ルモノトシタノデアリ
マス、尤モ其ノ配當率ニ付テハ、住宅營團
ノ事業ノ性質ニ鑑ミ制限ヲ設ケマシテ、國
債ノ利率トノ振合ヲ考慮シテ、最高年三分
五厘ヲ超ユルコトヲ得ナイモノト致シタ次
第デアリマス

最後ニ、監督及ビ罰則ニ關シマシテハ、
何レモ殆下全部庶民金庫法ニ於ケルト同様
ノ事項デアリマスノデ、説明ヲ省略サセテ
戴キマス

次ニ醫療保護法案ノ大體ノ内容ヲ御説明
申上ゲマス、時局下ニ於キマシテハ、庶民
層ノ生活確保ニ萬全ヲ期シマスコトハ、極
メテ緊要ノコトト存スルノデアリマスガ、
就中貧困ニシテ生活困難ナル者ニ對スル醫
療保護ノ徹底ヲ圖リマスコトハ、喫緊ノ要
務ト考ヘラレルノデアリマス、然ルニ我が
國現時ノ醫療保護制度トシマシテハ、救護
法及ビ母子保護法等ノ法律ニ依ルモノノ外、
昭和七年以來政府ニ於テ實施シテ居リマス
時局匡救醫療救護事業、竝ニ地方公共團體、
恩賜財團濟生會其ノ他各種社會事業團體ニ
依ルモノ等ガアリマスガ、凡ソ貧困ノ爲メ
生活困難ニシテ、醫療又ハ助産ヲ受クルコ
ト能ハザル者ニ對シ、普ク保護ノ徹底サレ
テ居ナイ憾ミノアリマスルノミナラズ、其
ノ醫療ノ範圍及ビ程度ハ未ダ十分トハ申シ
難ク、又受療ノ手續ニ於キマシテモ、醫療
券ノ雜多ナルコト、其ノ他醫療費ノ請求及
支拂方法ノ複雜ナルコト等、遺憾ノ點ガ多
多存スルノデアリマス、而シテ現行各種醫
療保護制度ヲ現狀ノ儘ニシテ置イテ、單ニ
行政的措施ヲ以テスルノミデハ、是等ノ不

四

備缺陷ヲ是正スルコトハ困難デアルト考ヘ
マシタノデ、茲ニ新タニ醫療保護ニ關スル
法律ヲ制定スルコトトシ、本法案ヲ提出ス
ルニ至ツタ次第デアリマス

本法案ノ内容ノ大體ヲ申上ゲマス、第
一ニ本法案ニ於キマシテハ、現行醫療保護
事業ニ付テ救護法及ビ母子保護法ニ依ルモ
ノ、時局匡救醫療救護事業並ニ地方公共團
體、恩賜財團濟生會其ノ他各種社會事業團
體等ニ依ル事業ヲ總テ吸收統合シマシテ、
凡ソ醫療保護事業ハ、總テ此ノ法律ニ依ル
コトト致シタノデアリマス

第二ニ醫療保護ヲ行フ事業者ニ付キマシ
テハ、市町村及ビ恩賜財團濟生會ヲ中樞ト
シテ、是等ハ當然事業者タルヲ要スルコト
トシ、道府縣及ビ特殊ノ公共團體ハ事業者
タルコトヲ得ルモノトシ、其ノ他ノ者ハ、
厚生大臣ノ認可ヲ受ケテ、事業者タルコト
ヲ得ルモノト致シタノデアリマス

第三ニ被保護者ノ範圍ニ付キマシテハ、
救護法又ハ母子保護法ノ如ク、極メテ小範
圍ノ特殊ノ資格者ノミニ限定スルコトナク、
廣ク貧困ニシテ、生活困難ナル者ニ對シ、
保護ヲ及ボスコトト致シタノデアリマス

第四ニ醫療ノ程度ニ付キマシテハ、各種
社會保險制度、又ハ共濟組合制度等ニ依ル
モノニ準ズルモノトシ、他面ニ於テハ、濫
救ノ弊ニ陥ルコトヲ避クル爲メ、市町村長
ヲシテ被保護者ノ認定ヲナサシムルノ機關
トシ、尙ホ方面委員ヲシテ、之ヲ補助
セシムルコトト致シタノデアリマス

第五ニ、厚生大臣必要アリト認ムルトキハ、
事業者ニ對シ施設ノ設置、若クハ必要ナル
附帶事業ヲ行フコトヲ命ジ、又ハ事業者ニ
對シ施設及ビ附帶事業ノ讓渡ニ付キ、協議

スルコトヲ命ジ得ルコトトシテ、醫療保護
事業ノ整備ニ資シ得ルコトト致シタノデア
リマス

第六ニ、醫療保護事業又ハ附帶事業ノ用
ニ供スル土地及ビ建物ニハ、公租公課ヲ免
除スルコトトシ、又事業者ノ負擔シマシタ
所定ノ費用ニ對シマシテハ、國庫ハ救護法
ノ場合ニ於ケルト同様ノ補助率ニテ、之ヲ
補助スルコトト致シタノデアリマス

第七ニ、地方長官ハ其ノ道府縣内ノ醫療
保護事業ニ關シ、計畫ヲ樹テテ各事業者ノ
發行スベキ醫療券ニ付キ、其ノ數及地域ヲ
定メテ割當ヲナシ、其ノ必要ナル統制及
聯絡ノ事務ヲ行フコトヲ定メ、以テ醫療保
護事業ノ實效ヲ擧グルニ遺憾ナカラシムル
コトヲ期シタノデアリマス

尙ホ本法ノ施行ニ要スル經費ハ、昭和十
六年度豫算案ニ計上セラレテ居ルノデアリ
マス、以上大體ノ御説明ヲ申上ゲタノデア
リマスガ、何卒御審議ノ上速カニ御協贊ヲ
與ヘラレマシヤウ、御願ヲ致ス次第デアリ
マス

○添田委員長 只今政府委員ヨリ三法律案
ニ付テノ御説明ガアツタノデアリマスガ、貸
家組合法案並ニ住宅營團法案ハ、相關聯シ
テ居ル問題デアリマスカラ、一括シテ先ヅ
第一ニ此ノ二法案ニ付テノ審議ヲ始メマシ
テ、之ヲ終ツテ次ニ此ノ醫療保護法案ニ入
リタイト思フノデアリマスガ、別ニ御異議
ハアリマセヌカ

○山川委員 私ハモツト十分調ベテカラ御

尋ネシタイト思ツテ居リマシタノデ、突然
ノコトデ餘リ研究致シテ居リマセヌガ、考
ヘ付イタコトカラ質問サセテ戴クコトニ致
シマス、此ノ貸家組合法ト言ヒマスノハ、
現在貸家業又貸家業ニ類似シタ仕事、貸室業
ト云フヤウナモノヲ行ツテ居ルモノノミガ
寄ツテ拵ヘル組合デアアルノデアリマスガ、
其ノ範圍ハ是ハ貸家デアアル、是ハ貸室デア
ルト云フコトヲ、ドウ云フ方法ニ依ツテ決
メルコトガ出來マスカ、實際上ニ於テ色々
ノ疑問ガ出來テ來ルト思ヒマスガ、之ヲ施
行セントスル上ニ於テ政府ノ御所見ガ伺ヒ
タイノデアリマス

ソレカラ次ニハ、此ノ第二條ノ事業デ「組
合員ノ貸家ノ建設ニ必要ナル土地及資材ノ
取得其ノ他貸家ノ建設ニ關スル共同施設」ト
斯ウ云フ風ニシテアリ、ソレカラ住宅營團
ノ方デモ、ヤハリ同ジヤウニ建設事業ヲ行
ハレルコトニナツテ居ルノデアリマス、此
ノ問題ニ付キマシテハ、今後政府ハ日本ノ
住宅ヲ建設スルノニ、ドウ云フ方針ヲ執ラ
レルノデアリマスカ、我が國ハ大變狭イ國
デアリ、土地ノ足りナイ國デアリマス、此
ノ足りナイ土地ヲ有效ニ使ツテ行カナケレ
バナラヌノデアリマス、日本ノ今日ノ大勢
ハ、田舎ノ人口ガ段々減ツテ行キ、之ニ比ベ
マシテ都市ニ集マル人ガ非常ニ殖エテ來タ
ノデアリマス、此ノ割合ハ昔カラ見マシタ
ラ幾層倍ノ割合ニナツテ、大變ナ差異ガ生
ジテ來テ居ルノデアリマス、斯クテ來テ作
ル者ト來テ食フ者ノ差ガ出來タ譯合デアリ
マス、都會ニ集マツタ人ガ住宅ノ爲ニ土地
ヲ潰スト云フコトハ、生産地ヲ減ラスコト
デアリマス、併シ大勢已ムヲ得ヌノデアリ
マスガ、成ベク其ノ意味ヲ採リ入レテ、住

宅ノ經營ト云フコトノ大綱ヲ立テナケレバ
ナラヌノデアリマス、私ハ餘リ世界中ノコ
トハ知りマセヌガ、考ヘテ見マスノニ、日
本程面積的ニ不經濟ナ家ヲ造ツテ居ル國ハ
ナイト思フ、ドンナ小サナ世帯ヲ持ツテ居
ル人デモ、一戸ハ一戸トシテノ構ヘ、家庭
トシテノ組織ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又
持チタガルノデアリマス、廣イ面積ノ敷地ニ
平家ノ僅カナ坪數ノ家ヲ建テテ、一構ヘヅ
ツヤツテ居ルノデアリマス、是ハ家族主義カ
ラ考ヘタラ、自然サウナルベキモノデアラウ
シ、又ソレガ總テノ人ノ求メタル所デアラウ
ト思フノデアリマスガ、之ヲ放任シテ置イ
タナレバ、終ヒニハ都會ノ面積ハ非常ナ廣
イ面積ヲ使フコトニナル、廣イ面積ヲ使フ
コトガ土地ノ不經濟デアアルコトハ申スマデ
モナイコトデアリマス、ソレモ土地ノ不經
濟ダケナラバ宜シイ、此ノ外ニ重大ナ問題
ガアルノデアリマス、第一トシテハ廣イ
面積ヲ使ツテ人間ガ住フコトハ、市街地ノ
道路ノ延長トナル、道路ノ延長ハ電線ノ延
長トナリ、更ニ水道ノ延長トナリ、瓦斯管ノ
延長トナリ、ソレ等ノ經費ガ非常ニ嵩マツ
テ來ルノデアリマス、假ニ僅カ一町ノ長サ
ニシテモ、其ノ間ニ一万人ノ人ガ住ムノト、
千人ガ住ムノト、三百人ヨリ住ンデ居ナイ
ノトノ差ヲ考ヘタナレバ、土地ノ經濟ニ大變
ナ相違ヲ來スノデアリマス、是等ノコトヲ
考ヘマシタナレバ、今後ハ市街地ニ於ケル
我が國現在ノ建築方法ヲ、一大英斷ヲ以テ
改良シテ、立體的ニ改メナケレバナラヌノ
デアリマス、此ノ必要ヲ當局ハドノ位ナ程
度ニ感ジラレテ居ルノカ、ドレ位ナ程度ニ
御研究ニナツテ居ルノカ、政府ガ今日茲ニ
貸家組合法、或ハ住宅營團法ノ如キ、一般

建築ニ關スル法律ヲ拵ヘテ、之ヲ指導サレルコトニナツタニ付キマシテハ、是等ノ點ニ付テ十分ナル御研究ノ上、我が國ノ住宅經營計畫ニ付テ、一大劃期的ノ改善ヲサレル要アリト認メルノデアリマス、尙ホ土地ノ經濟、其ノ他各種ノ施設ノ經濟ト云フコトノ外ニ、モウ一ツ重要ナ問題ガアルノデアリマス、ソレハ今日ノ日本ニ於テハ官吏ト公務員ノ人ノ數ガ、非常ニ増加シツツアルノデアリマシテ、今後モ種々ノ統制關係其ノ他ノ爲ニ、多クノ人ガ都市ニ集中シテ來ルモノデアラウト思フノデアリマス、特ニ中央ニ集マル人ノ數ハ益々殖エテ來ル、ソコデ交通ノ設備ニ付テモ、非常ニ必要性ヲ増大シテ來ルデアリマセウ、サウシタナラバ其ノ總テノ人ヲ運ブ交通機關ニ、影響ヲ及ボスコトハ大キナモノデアリマス、又不經濟ナ所ノ長イ距離ノ建設ヲ伴フト云フ譯合ニナルノデアリマス、尙ホモウ一ツ大事ナコトハ、此ノ間モ或ル人ノ話ヲ承ツテ居リマスル中ニ、「ドイト」デハ自分ノ住宅地ヨリ自分ノ仕事ヲスル區域ニ、毎日足ヲ運ビマスル上ニ於テ、労働者ハ三十分以上ノ時間ヲ要シタナラバ、其ノ一日ノ労働ノ能率ニ影響スル、勤勞取得者ハ四十分以上ノ時間ヲ使ツタナレバ、是亦仕事ノ上ノ能率ニ影響スル、斯ウ云フコトヲ聞イタノデアリマス、ソレデ「ドイト」ニ於テハ、此ノ住宅經營ニ對シテ距離ノ問題、ソレカラ交通上ノ總テノ機關ヲ整備シテ、乗換ノ場所ノ如キデモ、降りレバ直チニ危險ヲ感ゼズ、頭ヲ使ハズニ乗換ヘ得ル設備ニ付テ、非常ニ考慮ヲ拂ツテ居ル、斯様ニシテ色々ノ仕事ノ上ノ能率ヲ進メルコトニ、努力シテ居ルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、洵ニ

其ノ通りデアラウト思ヒマス、今日サウ云フ點カラ考ヘマシタナレバ、此ノ法律ヲ一ツツ別ノ法律トシテ、此ノ法律ノ目的ヲ達スルナラバ宜イト云フダケデハナク、サウ云フ市街地ノ經濟、交通ノ經濟、設備ノ經濟、時間ノ經濟、能率ノ關係等ヲ十分考慮シテ、是ハ政府トシテ手ヲ着ケラレマシタ初メテノ仕事デアリマスカラシテ、立派ナ指導的、模範的ノ事業トシテヤラレナケレバナラス所ノ重大ナル責任ノアル法律デアリ、大變大切ナ法律デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、政府ノ御考ヘニナツテ居リマスルコト、ソレカラ茲ニ書イテアリマス所ノ此ノ貸家ノ建設ノ爲ノ土地ヲ得ルコトニ付キマシテハ、距離ノ問題、時間ノ問題等ニ付テ、ドウ云フ考慮ヲ拂ハレテ居リマスルカ、又ドウ程度ノ生活者ニ適スル所ノ建築ヲ目的トサレルノデアリマスカ、一戸ノ坪數、建築費用、其ノ場所ニ對スル所ノ交通關係、サウ云フ點ニ付キマシテ、政府ノ御所信ヲ伺ヒタイノデアリマス

○兒玉政府委員 政府ガ住宅政策ヲ遂行スル方針ニ付テ、洵ニ適切ナ御質疑デアリマスガ、只今御述ベノ如ク、近來都市集中ノ傾向ガ著シイ、特ニ産業ノ發展ニ伴ヒマシテ、勞務者ガ都市ニ集マル傾向ガアル、其ノ爲ニ都市ニ於ケル住宅難ト云フモノガ、特ニ深刻デアルト云フ點ハ、全ク御述ベノ通りデアリマシテ、自ラ此ノ時局ノ要請ニ副フタヤウナ建設ヲ致スコトニ相成ルト思フノデアリマスガ、其ノ建設ヲ行フ上ニ於テ、農地ヲ潰シテ行クト云フヤウナコトガ憂慮セラルルト云フ點ハ、全ク御尤モノコトト

思フノデアリマス、其ノ點ニ付テハ、私共モ同様ノ感ヲ抱クノデアリマスレドモ、先程申シマシタヤウナ情勢ニ即應致シマスレバ、自ラ多少ノ農地ヲ潰スト云フコトモ起ラウカト思フノデアリマシテ、申サバ已ムヲ得ナイ事柄デアルト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ點ニ付テハ、一面ニ於テ農地ノ開發ト云フヤウナ政策ヲ考慮シナケレバナラヌカト思フノデアリマスガ、過般閣議ニ於テ決定セラレマシタ住宅對策ノ要綱ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ヲ包括致シマシテ、住宅對策ノ根本方針トシテハ、産業立地、人口分布並ニ土地配分ノ綜合的ノ調整ヲ根幹トシテ、計畫ヲ進メルト云フコトヲ、根本方針ニ致シテ居ルノデアリマス

次ニサウ云フ見地カラ住宅ノ建設ヲ立體的ニシテ行カナケレバナラヌデハナイカト云フ點モ、洵ニ御尤ト存ズルノデアリマシテ、曾テ震災後ニ於キマシテ、住宅經營ヲ目的トシテ出來マシタ同潤會ガ、其ノ仕事ヲ進メマス上ニ於テハ、當初ハ實ハ取急ガ關係デ、木造ノ家ヲ主トシテ建設ヲ致シタノデアリマスガ、當面ノ急ヲ過シタ後ハ、専ラ立體的ノ建築ニ向ツテ進ンダノデアリマス、尤モ其ノ後ニ於キマシテ、先程御説明ヲ申上ゲマシタヤウニ、日本ノ庶民層ノ一ツノ希望ト申シマスガ、自分ノ城郭、自分ノ家ヲ所有シタイト云フ希望ガ非常ニ強イ、是ガ又日本ノ一ツノ生活様式ニモ副フテ居ルコトト思フノデアリマスガ、サウ云フ見地カラ又別箇ノ小住宅ノ分譲ト云フヤウナコトモ、ヤツタノデアリマスガ、他面ニ於テハ立體的ノ建設物ヲヤツタト云フヤウナ經過ヲ辿ツテ居ルノデアリマスガ、今御述ベノヤウナ點カラ申セバ、立體的ニ集約シタ建築ヲヤルト云フコトハ、最モ望マシイコトト思フノデアリマスレドモ、實ハ只今ノ仕事ヲ進メル上ニ於キマシテハ、一面ニ於テハ資材ノ關係カラ致シマシテ、立體的ノ建設ヲヤルト云フコトハ、中々困難デアルト考ヘラレルコトガ、他ノ一面ニ於キマシテハ、先程申シマシタヤウニ、分譲住宅ト云フヤウナコトモ考ヘテ居ルト云フヤウナ次第ヲ以テマシテ、差當リ此ノ住宅對策ト致シマシテハ、御意見ノヤウナ點ヲ、十分ニ充スコトハ出來ナイコトガ相當遺憾ニ考ヘテ居ル者デアリマスガ、時局ノ情勢カラ致シマシテ、此ノ點モ已ムヲ得ナイト云フコトデ、御諒承ヲ願フ外ナイカト思フノデアリマス、更ニ住宅ノ建設ニ當ツテ、交通關係ヲ十分ニ考慮シナケレバナラヌデハナイカト云フ點モ、全ク御尤モデアリマシテ、例ヘバ川崎方面ノ如キ、或ハ廣ク東京、横濱、即チ京濱方面ニ於キマシテ、朝ノ「ラッシュ・アワー」ニ通勤者ガ非常ニ苦シミヲ致シ、其ノ爲ニ餘計ナ時間ヲ費シ、餘計ニ神經ヲ惱マスト云フコトハ、洵ニ困ツタ状態デアルト思フノデアリマシテ、左様ナ見地カラ致シマスレバ、住宅ノ建設ト云フコトニ付テ、距離ノ關係、時間ノ關係、交通ノ關係ト云フコトヲ、大イニ考慮シナケレバナラヌト存ズルノデアリマシテ、住宅對策ノ先程申述ベマシタ根本方針ノ中ニハ、何レモソレ等ノ點ヲ考慮スルト云フ意味ヲ含ンデ居ルノデアリマスガ、サラバト申シマシテ、之ヲ實行スル上ニ於キマシテサウ云フ要件ヲ悉ク充シマスル爲ニハ、土地ヲ得ルト云フコトガ、非常ニ困難ヲ感ズル問題デアルト、實ハ今カラ覺悟致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ爲ニ此ノ法律案ノ中

ニ、先程御説明申上ゲマシタヤウニ、土地ノ收用若シクハ使用ヲ強力ニ行フコトガ出來ルト云フヤウナ途ヲ開イタノモ其ノ所以デアリマスガ、御意見ノヤウナ點ハ、十分ニ考慮ニ入レテ此ノ事業ヲ進メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○熊谷政府委員 御尋ネノ第一點ノ、貸家ト貸間ノ區別ガ付クカト云フ點デアリマス、貸家ト貸間ノ區別ハ、實ハ貸間ノ營業「アパート」トカ、下宿屋ノ營業ニ付キマシテハ、ソレノ地方廳令ヲ以テ取締ノ規則モ出來テ居ルノデアリマシテ、大體ニ於キマシテ區別ガ付クト考ヘテ居リマス、貸家ト申シマスノハ普通ノ一般ノ住宅、世帯向キノ獨立ノ住宅、或ハ長屋デアリマス、貸間ト申シマスノハ、一ツノ建物ノ内ヲ各部屋部屋ニ分ケテ、ソレヲ貸スノデアリマス、ソレデ大體區別シテ指導ガ出來ラデアラウト思ツテ居リマス、ソレカラドノ程度ノ廣サ、一坪當リトシテ幾ラカト云フヤウナ御尋ネデゴザイマシタガ、先程一寸申上ゲマシタヤウニ、大體住宅營團デ考ヘテ居リマスノハ、一番大キイノガ建坪二十坪デアリマス、次ガ十五坪、其ノ次ガ十坪ト云フ積リデ居リマス、二十坪及ビ十五坪ノ建物ハ、大體坪當リノ建設費ガ百七十圓、一番小サイ十坪住宅ハ建設費ガ、坪當リ百八十圓ノ積リデ居リマス、是ハ豫定デアリマス、大體分譲致シマスル値段ヲ申上ゲマス、一番大キナ二十坪ハ土地付デ月三十三圓ノ二十箇年賦、次ノ十五坪ハ月二十五圓ノ二十箇年賦、十坪住宅ハ大體十八圓程度デ賃貸ガ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山川委員 是ハ總テ二十箇年デスカ

○熊谷政府委員 サウデス

○山川委員 サウシマス、ト洵ニ小サナモノデアリマスガ、是ハ一戸々々一ツノ區劃ヲ立テテ、屋敷的ニ建テラレルノダラウト思ヒマスガ、是ハ二階建デアリマス、三階建デアリマス

○熊谷政府委員 只今總テ二十箇年ト申上ゲマシタガ、分譲スルモノガ二十箇年デ、賃貸ハサウデハアリマセス、ソレカラ建方ニ付キマシテハ、勿論健康ノ明朗ナ住宅ヲ建テタイト思ヒマス、又防空ノ見地カラモ考ヘテ建テナケレバナラト思ヒマスガ、一戸々々建テテモアルシ、又長屋式ノモノモアルシ、又最近同潤會等デヤツテ居ル立體的ノ四戸建ト云フヤウナヤリ方モアラウト思ヒマスガ、三階トカ四階ト云フコトハ物資ノ關係上、木材建デアリマスカラ、一寸出來ナイト思ヒマス

ガ掛リ、無用ノ電氣、無用ノ水道、無用ノ瓦斯、無用ノ道路ノ建設、大變ナコトニナルト思ヒマス、及ブダケ立體的ノ建築ニ進ンデ行クト云フ方法ヲ執ラレルコトヲ希望致シタイノデアリマス、木材ヲ以テ三階、四階ノ家ヲ建テルコトハ、非常ニ資材ガ困難ト申シマスガ、アノ木ハ四本ヲ組合ハセル、六本ヲ組合ハセル、八本ヲ組合ハセル、一ツノ柱ヲ組合セテ以テ建築スレバ、ドンナ高イモノデモ建テラレル、一本ノ木デ造ツタ柱ヨリハ、組合セテノモノノ方ガ強イノデアリマス、昔ノ千石柱ハ皆木ヲ組合ヘセテ之ニ輪ヲ嵌メテ造ツテ居ル、ソレハ何レニ學ンダカト云フト、奈良ノ大佛様ノ建築ノ柱ニ學ンダノデアリマス、アノ柱ハ數十本ノ木ヲ組合ヘセテ、サウシテアノ大キナ柱ガ造ツテアルノデアリマスアレニ依ツテ學ンダノデアリマス、決シテ弱イノデハナイ、體裁ハ少シクドウカト思ヒマスガ、其ノ邊ヲドウゾ御考ヘニナラレテ、木材ニ依ツテデモ、數層ノ家ヲ建テルコトハ決シテ困難デナイ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、各種ノ觀點カラ御考ヘテ願ヒマシテ、成ベク立體的デ、サウシテ敷地ノ面積ヲ少クスル、百軒ヤ二百軒ノ家ナラバ、ソレハ宜シイガ、茲ニ政府ガ行ハウト云フノダケデモ、三十万戸ノ家ガ今目標ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ガドノ邊マデニ進ンデ行クカ分ラヌノデゴザイマス、其ノコトニ付テモウ一度伺ヒタイト思ヒマス

○山川委員 木材ノ良イ資材ガナクナツテ、大變求メニクナツタノデアリマスガ、是ニ年ニ五、六万戸ノ建築、五箇年間デ三十万戸ノ建築ニ要スル資材ト云フモノハ、大變ナ數ニ上ルト思フノデアリマス、當初一年ヤ二年ノ間ハ相當ヤレカモ知レマセスガ、繼續シテ資材ヲ得ルコトハ、大變困難デアルト思ヒマス、ソコデ何處マデモ立體的、經濟的ノ家ヲ建テナケレバ、假ニ三十万戸ノ家ヲ一箇所ニ土地ガアルトシテ建テルト致シマシタナラバ、大キナ市街ガ一ツ出來ルノデアリマス、其ノ市街地ノ間ヲ或ハ十町トカ、十五町トカ、二十町トカ云フ此ノ距離ヲ數多ノ人が歩いて居ル、是ハ無用ノ足ヲ運ンデ居ルコトニナル、立體的ニスレバ其ノ四分ノ一デ運ベル、斯ウ云フ屋敷的ノモノニスレバ、七割ナリ八割ナリノ無用ノ足

ヨリ神戸ニ至ル間始メ住宅地ニナツテ居ル、又工業地ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ大キナ工業地ニハ、ソレノ住宅地ノ附帶事業ヲ、政府ハ命令サレテ居ルノデアリマス、是ハソレノ大變ナ大企業ニナツテ居リマシテ、其ノ業主ハ今土地ノ求メ方、是ノ建設等ニ付テ非常ニ頭ヲ悩マシテ居ルノデゴザイマス、是等ニ向ツテモ此ノ方デ行カレルノデアリマス、或ハサウ云フノハ立體的ノ「アパート」式ノモノデ進ムト云フコトニサレルノデアリマス、政府ノ指導サレマスル方針等ヲ承リタイノデアリマス

○熊谷政府委員 住宅建築ノ大體ノ方針ニ關シマシテ、色々御意見ガアツタノデアリマス、大事ナ土地ノ問題、或ハ電燈、電話、瓦斯、交通機關等ノ資材ノ關係カラシテ、出來ルダケ立體的ノモノヲ考ヘルト云フ御意見、御尤モデアリマシテ、住宅建築ノ際ニ於キマシテハ、出來ルダケ土地ヲ潰サナイヤウニ、潰スト致シマシテモ、田ヲ避ケテ畑ニスル、畑ヲ避ケテ荒地ニスルト云フヤウナ方針デヤツテ行カネバナラス、又建テマス場合ニモ、許サレルダケ土地ヲ節約スルコトガ必要デアリ、又物資ノ節約ト云フコトモ考ヘナケレバナラスノデアリマス、又一面所有慾ト申シマス、家ヲ自分ノモノニシタイト云フ慾モアリマセウシ、家族制度ト云フ見地モアリマセウシ、保健衛生ト云フ點モアリマセウシ、又防火上ノ色々見地カラモ、考ヘラレナケレバナラスノデアリマス、出來ルダケサウ云フモノモ盛り込ミマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ考ヘテ見タイト思ヒマス、尙ホ神戸地方デヤツテ居リマス色々ナ勞務者住宅ノ御話デアリマスガ、大體ニ於キマシテ、只今ノ所新工場

○山川委員 是ハ總テ二十箇年デスカ

主ノ建築ニ任セテアルノデアリマスガ、將來住宅營團等ガ出來マスレバ、サウ云フ方面モ指導シテ行キタイト考ヘマス

○山川委員 モウ一ツ御伺ヒ申上ゲタイノデゴザイマスガ、第四ニ免稅ト云フコトガ書イテアリマス、組合ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ又登錄稅及印紙稅ニ關シ必要ナル減免ヲ爲スコト」斯ウ云フ風ニ書イテアルノデアリマス、是ハ重大ナル問題デアリマシテ、唯今日逼迫シテ居ル住宅難ヲ救フト云フ目的ノ爲ニ、手段ヲ選バスト云フヤリ方デアルト、私ハ思フノデアリマス、今日住宅社ニ住宅ヲ經營セシメ、自分ノモノニスルト云フコトニ努力セシメルト云フコトニ付キマシテハ、洵ニ結構デアリマシテ、此ノ法律ハ必要ナルモノト私ハ思ヒマスガ、稅ヲ免ズルト云フコトハ、ソレカラ後ニ國民トシテノ義務ヲ免レルコトニナルノデアリマス、唯住宅ニ關スル免稅デアラカラ、人ニ對スル免稅デハナイト仰セラレルカモ知レナイガ、都會ニ於テハ税金ハ今日マデ、土地又ハ家屋ヲ課稅ノ對象トシテ居ルノデアリマス、又是ヨリ外ニ取リ所ガナイノデアリマス、ソレ故ソレヲ中心トシテ課稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ住宅經營組合ニ依ツテ獎勵サレマス時ニハ、是ハ益、發達シナケレバナラヌモノデアリ、是ガ發達シテ參リマシタナレバ、政府ノ三十万ハ進シテ五十万ニナルカ、七十万ニナルカ、ソレハ分ラヌノデアリマス、現在ノ狀況ダケヲ見テ、是位ノ免稅ハ國家ノ收入ニ影響ハ少イ、憂ヘル程ノモノデナイト思召スカモ知レマセスケレドモ、一旦作ツタ所ノ法律ト云フモノハ、事情ニ大キナ變化ガナイ限リハ、其ノ法律ハ永續的ニ

使ハレルト思フノデアリマス、明治ノ初年ニ作ツタ法律デモ、今殘ツテ居ルノガ澤山アルノデアリマス、法律ハ其ノ場限りニ作ルベキ性質ノモノデハナイ、之ヲ作ル時ニハ永久ト思ツテ作ラナケレバナラヌノデアリマス、是等ノ住宅ガ免稅デアルト云フコトデ、人ガ皆之ヲ目指シテ進ンデ行キマシタナラバ、國家或ハ都市ノ收入ハ何ニ依ツテ得テ行クノデアリマス、田舎ニ住ンデ居ル者ハ免稅ノ方法ガナイ、都會ニ居ル者ハ其ノ方法ニ依ツテ免稅ノ區域ニ入ツテシマフ、是ガ非常ニ大キナコトニナツテ來タラ大變デアリマス、デアリマヌルカラ、是ハ絕對ニ私ハイカヌト思フノデアリマス、「ローマ」ノ末世ヲ考ヘマシテモ、「ローマ」ノ末世デハ、税金ヲ納メタ國民ハ五割五分シカナカツタ、四割五分マデハ税金ヲ拂ハナイ所ノ人デアアル、其ノ税金ヲ納メナイ人ハ皆權利者デアツタ、稅ヲ納メナイノミナラズ、人カラドン／＼稅ヲ取ル權利ヲ持ツテ居ツタ、唯最後ノ納稅者ハ農民デアツテ、農民ノミガ納メタ、是ニ於テ國ハ減ビタノデアリマス、現在ニ於テハ僅カデアラカラ、稅額ニ依ル影響ハ及ボサストハ存ジマスルガ、將來ヲ見透シテ、多クノ人ガ免稅ノ土地、免稅ノ家屋ニ入ツテシマフト云フコトハ、國家ニ必要ナ財源ヲ、此ノ場所カラ取ルコトガ出來ヌコトニナルノデアリマス、實ニ恐ルベキ問題デアツテ、將來ノ見透シテ、大變ナ問題デアラウト思ヒマス、一方今日ノ住宅難ヲ救フノニハ、從來ノ税金ヲ免除スルト云フヤウナコトマデ考ヘテヤラナイデモ、十分救フコトガ出來ル、住宅難ヲ救フニ於テ利益デアアル點ハ、何カラ何マデ總テ搔浚

ツテ來テ、此ノ法律ニ盛ツテシマヘバ宜イト云フモノデハナイ、一面國家ノ將來ノ見透シト云フモノヲ、十分付ケナケレバナラヌノデアリマス、是ハ重大ナル問題ト考ヘマスルニ依ツテ、委員各位ト共ニ御研究ヲ申上ゲナケレバナラヌ問題デアラト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ御所見ヲ御伺ヒ申上ゲタイノデアリマス

○熊谷政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、法文ノ七條ヲ御覽ヲ戴キタイノデアリマス、「住宅營團ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ」是ハ營團ニ課ケナイト云フコトデアリマシテ、個人ニハ勿論課ケルノデアリマス、ソレカラ其ノ次ノ、北海道、府縣市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ住宅營團ノ事業、又住宅營團ガ建物ヲ建テタリ、土地ヲ買ツタリシタ場合ニ、不動産所得稅トカ、營業稅ノモノヲ課ケナイ、詰リ住宅營團ニ課ケナイト云フコトデアリマス、住宅營團ノ家ノ個人ガ分讓シテ、支拂ヲナシマシタ後ニ、所有權ガ移轉スルヤウナ場合ハ勿論課ケルノデアリマス、又住宅營團ノ建物ニ住ンデ居リマスル人ニ對シマシテハ、勿論是ハ家屋稅デアルトカ云フヤウナモノハ取ルコトニナツテ參リマス、個人ニ對シテ免稅ヲ致シテ居ルノデアリナイノデアリマシテ、住宅營團其ノモノニ對シテ免稅ヲシテ居ル、御意見通り其ノ中ニ住ンデ居ル個人ニ對シテ免稅スルト云フコトハ、其ノ市町村ニ取リマシテ、家屋稅ナリ、地租ナリト云フモノハ、或ハ學校トナツタリ、或ハ八道路トナツタリ、重要ナモノデアリマスルカラ、此ノ點ニ付テハ免稅致シテ居リマセヌ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

○山川委員 分リマシタ、住宅營團ノ財團法人デアルト云フヤウナモノニ對シテハ、税金ヲ課ケナイト云フノデアリマスガ、若シ住宅營團ガ事務所トシ、或ハ總テノ住宅ノ爲ニ經營スル所ノ、種々ノ市場其ノ他ノ設備ヲ致シマス時、斯ウ云フモノハ住宅營團ノ直接所有物デアラカラ、之ニハ課ケナイト云フコトニナルノデアリマス、唯此ノ團ノ組織ニ對シテノ免稅ニナルト云フ意味デアルノナラバ、法人デアツタナレバ免稅ニナルノデアリナイカト思ヒマス、此處ニ斯ウ云フ風ニ「營團ニハ」ト書ケバ、營團ノ中ノドウ云フモノニハ免稅ヲシ、或ハ土地、住宅或ハ營團ニ必要ナル建築物ニハ、ヤハリ課ケルノデアラカ、其ノ邊ヲモウ一ツ承ツテ置キタイノデアリマス

○中島(賢)政府委員 課稅ノ點ニ付キマシテ只今問題ニナリマシタガ、住宅營團ニハ課ケマセヌ、稅ノ種類ニハ第七條ニ書イテアリマス通り、所得稅、法人稅及ビ營業稅デアリマス、是ハ庶民金庫法、或ハ恩給金庫法、最近又本會議ニ提案サレテ居リマス、交通營團法ト云フヤウナモノト同ジヤウニ、團體其ノモノニ所得稅、法人稅、營業稅ヲ課ケナイ、斯様ニナツテ居ルノデアリマス、但シ住宅營團ガ、其ノ外ノ事業ヲ執行スル上ニ於キマシテハ、例ヘバ土地ヲ持ツテ居リマス場合ニハ、地租ハ課カリマス、隨テ又地租附加稅モ課カリマス、或ハ又建物ヲ持ツテ居リマス、ソレハ家屋稅ガ課カリマス、現在ニ於キマシテハ、家屋稅ノ附加稅ト云フモノモ課ケルコトニナツテ居リマス、唯一事ノ納稅金ノ中、或ルモノハ免除シテ居リマス、只今申シマシタノハ經常時ナ稅金デアリマスガ、其ノ中所得稅、法人稅、營業稅ハ課ケナイ、併シ地租ナリ、家屋

稅、營業稅ハ課ケナイ、併シ地租ナリ、家屋

税ナリト云フモノハ課カツテ行キマス、一時的ナ税金ト致シマシテ、例ヘバ地方ニ於ケル不動産取得税ノ如キハ、住宅營團ニハ課ケナイノデアリマス、併シナガラ住宅營團カラ分譲ヲ受ケマシテ、各個人ガ取得シマス場合ニ於キマシテハ課ケル、詰リ一種ノ二重課税ヲ避ケルト云フ趣旨デ立案サレタノデアリマス、住宅營團ガ企業者ニナリマシテ、家ヲ建テテヤリ、ソレヲ個人ガ取得シマス場合ニ、黙ツテ居リマスト二度取ラレルコトニナリマス、住宅營團ガ建テタ時ニ取ラレマス、ソレカラ各個人ニ所有權ガ移轉シタ場合ニモ取ラレマス、ソレデハ一種ノ二重課税ニ相成リマスカラ、其ノ場合ニハ住宅營團ニハ課ケナイ、併シ分譲シテ各個人ガ取得スル場合ニハ課ケル、斯様ニナツテ居ル譯デアリマス、登録税ニ於キマシテモ亦同様ニ、二重課税ヲ避ケルト云フ方法ニ依リマシテ、ヤツテ居ル譯デアリマス、左様御諒承願ヒマス

○山川委員 ソレデハ又考ヘテ御尋ネ申上ゲル場合モアルカト思ヒマスガ、私ハ一寸是デ休マセテ戴キマス

○添田委員長 次ハ西村君デスガ、今オイデニナラヌヤウデスカラ、次ハ野口君

○川崎(巳)委員 一寸關聯シテ……、私ハ質問ヲ申上ゲル資料トシテ、三ツ程資料ヲ當局カラ出シテ戴キタイノデス、當局ガ此ノ住宅法案ヲ出サレルコトニナリマシタノハ、大キナ都會デハ人口ガ稠密シテ住宅ガ不足デアルカラデアリマスガ、ソレハ大體ノ觀念デ詳シイ數字ガ分リマセヌノデ、大體人口二十万以上ノ都市ニ付テ、最近五箇年間ニ人口及ビ世帯ガ、ドノ位増加シテ居ルカ、ソレヲ一ツ出シテ戴キタイ、ソレカラ「アパート」ハ主ニ大都市ダケト思ヒマスガ、六大都市ニ於ケル「アパート」ノ現在戸數、及ビ其ノ室數ヲ出シテ戴キタイ、ソレカラ先年水害ノ時ニ兵庫縣ナドニ行ツテ見マスト、彼處ノ知事ナドガ非常ニ悲鳴ヲ揚ゲテ居ツタ、此ノ縣ハ工業地帯ニナツタノデ、耕地ガドソソ工場及ビ住宅ノ爲ニ減ラサレテ居ル、ソコニ持ツテ來テ、此ノ早害ダカラ何トモシヨウガナイ、政府カラハ農産物ノ増産ヲ命ゼラレテ居ルノデヤリ切レナイ、斯ウ云フ實際ノ話ヲ聞イタコトガアリマス、ソレデスカラ工場ヲ持ツテ居ル府縣、是ハ餘リ數多クハナイデセウカラ、其處ノ工場及ビソレニ付キモノデアアル勞働者ノ住ム住宅、ソレガドノ位ノ割合デ殖エテ居ツテ、ドノ位ノ耕地ヲ潰シテ居ルカ、是ハ現在ノ所大體御分リト思ヒマスカラ、御調べガ出來マスレバ、調べテ出シテ戴キタイ、以上三ツヲ要求シタイノデス

○山川委員 一寸只今御伺ヒ申シマシタ免稅ノコトデ、マダ少シ疑念ガアルノデゴザイマス、此ノ住宅營團ガ建テルモノニ對シテハ、是ハ政府ガヤルノデアアルカラ、色々免稅モアリ、其ノ他ノ税金モアルガ、次ニソレヲ自分ノモノニスル時ニハ、ソレニ對スル色々税金ヲ課ケルノデアアルカラ、是ハ二重課税ニハナラナイヤウニスルノデアツテ、普通ノ一重稅ハ拂フト云フ譯デアアルトノ御説明デアラウト思ヒマス、ソレナラバ宜シイガ、此ノ營團ト云フモノハ、營團デモ借家組合デモ、是ハ持チ寄リデゴザイマス、此ノ持チ寄リノモノニ對シテ、誰ソレノモノニハ課カラヌガ、其ノ持チ寄リノ總テノ價格ニ對シテハ、從來通り此ノ組合ニ入ツタ者ト雖モ、免稅ハナイノデアリマスカ、各、持チ寄ツテ居ル個人々々ニ對シテハ、異同ハナイノデアリマスカ、集マツタ所ノ一ツノ組合ト云フモノニ對シテ、其ノ組織ニ對シテノミニ免稅デアツテ、理窟的ニハ一重ノ税金ハ總テ課カル、脫稅ハナイ、此ノ組合法ヲ活カスト云フ意味デハナク、國ト云フ上カラ見テ、脫稅ト云フ意味ハ含マナイト云フコトデアリマスガ、サウスルト法律上ノ脫稅ト云フ意味ノコトガ行ハレルノデハナイカ、ソコノ所ニ一寸疑問ガ出マシタノデ、モウ少シ詳シク御説明ヲ願ヒマス

○中島(實)政府委員 稅ノ所ヲ少シ詳シク申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、先ヅ住宅營團カラ申上ゲマスガ、住宅營團ノ第七條ニ依リマシテ、所得稅ト法人稅、ソレカラ營業稅ト云フ國稅ハ課カラナイ譯デアリマス、隨テ之ニ伴ヒマス附加稅モ取ラレナイコトニナリマスガ、ソレハ營團其ノモノニ對スル謂ハバ主體ニ對スル免稅デアリマス、ソレカラ營團ニ對シマシテ課ケマセヌノガ、第七條ノ二項ニアリマス所謂地方稅ニ於ケル不動産取得稅デアリマス、此ノ不動産取得稅ヲ課ケマセヌノハ、大體ノ狙ヒト先程申シマシタヤウニ、二重課稅ヲ除クト云フ思想デアリマス、詰リ營團デ土地ヲ取得シ、建物ヲ建テルト云フ場合ニハ、黙ツテ置キマスレバ、地方稅ノ不動産取得稅ガ課カリマス、其ノ營團ハ三分ノ二程ヲ分譲スル建前ニシテ居リマスノデ、隨テ分譲シマスト、分譲ヲ受ケマシテ個人ガ取得シタ場合ニ於キマシテハ、又ソコデ課カルト云フ問題ガ起キテ來ルノデアリマス、サウ云フ關係ニ於キマシテ、大體ニ於テ二重課稅ヲ避ケルト云フ趣旨ニ於キマシテ、ソレヲ免稅シタノデアリマス、但シ貸家經營デ持ツテ居ル場合ハ、ドウカト云フト、三分ノ一程ノ問題ハ殘ルノデアリマス、三分ノ一程ノ問題ニナリマスルト、ソレハ小住宅デアールカラト云フ理由ニ依リマシテ、不動産取得稅ハ除イテ居リマス、併シナガラ地租、家屋稅ト云フ恆久的ナ財源ハ、免稅致シテ居ラナイノデアリマス、地租、家屋稅ト云フモノハ、大體ニ於キマシテ、殊ニ地方ノ財源トシテ重要ナモノデアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、之ヲ財源ト致シマシテ、或ハ學校、道路ト云フヤウナモノノ施設經營ニ充當シテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ點ハ吾々ト致シマシテモ能ク考慮致シマシテ、地租ナリ、家屋稅ナリト云フモノハ免稅ニ致サナカツタ次第デアリマス

ソレカラ登録稅ノ點デアリマスルガ、是ハ少シウルサイコトニナリマスルガ申上ゲマスルト、登録稅ガ課カリマセヌノハ、是ハ一般ノ組合ノ例其ノ他ニ倣ツタノデアリマス、詰リ此ノ營團法ニ基イテ色々登記事項ガアリマス、例ヘバ理事ガ送ツタ場合ニ登記シロトカ、色々ト勅令ニ基ク登記事項ガ生レテ來ル譯デアリマスガ、其ノ登記事項ヲ登記シマス場合ニ於テハ、登録稅ヲ課ケナイ、是ハ殆ド總テノ組合ニ通ジタ原則デアリマシテ、本法ニ基イテナス登記ニハ登録稅ヲ課ケナイ、此ノ點ガ免稅ニナリマス、ソレカラモウ一ツハ、事務所ノ土地、建物ヲ取得シマスル場合ニ、登録稅ガ課カラナイノデアリマス、事務所ノ用ニ供シテ居ル限リハ、登録稅ガ課カラナイノデアリマスガ、併シナガラ地租ナリ、家屋稅ナリハ課カルノデアリマス、其ノ點誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ住宅營團ノ事業ニ伴ヒマシテ、土地ヲ取得シマスル場合ニ、國稅ノ登錄稅ハ課カリマスガ、今度ソレヲ各個人ニ行キマス場合ニハ課ケナイ、斯ウ云フ手段ヲ執ツテ居ルノデス、詰リ地方稅ノ方ニ於キマシテハ團體ニ先ヅ課ケナイト云フコトニシ、各個人ニ行ク場合ニ課ケルト云フ態勢ヲ執ツテ居リマスガ、國稅ノ方ハソレトアベコベニナリマシテ、最初ニ取ル、併シ其ノ次ニハ免稅スル、斯ウ云フヤウニシテ二重課稅ノ方法ヲ避ケテ居ルノデアリマス、其ノ點御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山川委員

モウ一ツ實例ニ付テ御伺ヒ申上ゲタイノデスガ、假ニ大阪附近ニ此ノ頃造リマス所ノ住宅デアリマスガ、政府ノ命令ニ依ツテ必要ノ住宅ヲ拵ヘルト云フノ拵ヘル、ソレハ一ツノ住宅デ五万人位ハ住ヒスル位ノ設備ヲシテ居ル、所々ニソソナモノガ何十箇所ト出來テ居ル、現ニ和歌山縣ナドニモ、今度ハ十万人位ノ人ハ一ツ所ニ住ヒスル住宅ヲ造ラナケレバナラヌト云フ問題ガ起ツテ居ル、斯ウ云フモノヲ造リマシタ時ニ、命令ニ依ツテ行フモノトシテ、ヤハリ斯ウ云フ貸家組合法トカ、或ハ住宅營團ト云フ法律ニ包容サレルノデアリマスカ、ソレハ別ニサウ云フモノヲ一個ノ組合ト見做シテ、此ノ方ニ掛ツテ行クノデアリマスカ、是ハ別ノ方ニ見做サレルノデアリマスカ、一ツノ工場トシテ經營者ガ一個デアリマス場合ニハ、名前ハドノヤウニモ付ケラレマス、若シ之ヲ集團のナモノニシヨウトスレバ、多クノ者ノ名前ヲ集メテ來レバ出來ル、斯ウ云フコトニ付テ餘程慎重ナ考ヘヲ持ツテ居ナイト、色々ト是ハ防害ニナル、又營利ノ觀念カラ事業ヲ經營スル者

ハ、各方面ノ各種ノ觀點カラ考ヘテ、ドウ云フ風ニ法律ヲ應用スルカ、利用スルカ分ラヌノデアリマス、國家ノ財力ニ損害ノ起ラナイヤウニ、先ヅ以テ考ヘテ置カナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘマス、又ソレガ爲ニソソナ大キナモノヲ造ラレタノヲ包容シテ居ル町村或ハ市、サウ云フモノノ經濟ノ上ニ於テ、非常ニ難儀ナコトガ出來ルカ、非常ニ便宜ナコトガ出來ルカ、是ガ岐レ路ニナル、私共田舎ノ仕事ヤ色々ナ事ヲヤツテ居リマスガ、サウ云フヤウナコトカラ考ヘマシテ、斯ウ云フ方面ノコトニ付テ、少シ知識ヲ與ヘテ戴キタイ

○中山委員 工場ノ附屬物デハナイト云フ形式ヲ執ルコトガ出來マスカ
○中島(實)政府委員 只今御話ノ、工場ガ自分ノ職員ノ爲ニ、或ハ勞務者ノ爲ニ住宅ヲ建テマス場合ニハ、何等免稅ノ特典ハアリマセス、斯様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス
○山川委員 工場ノ附屬物デハナイト云フ形式ヲ執ルコトガ出來マスカ
○中島(實)政府委員 ドウ云フ御考ヘカ能ク分ラナイノデアリマスガ、貸家組合ハ貸家業者ノ業者ト云フト語弊ガアリマスガ、貸家ノ所有者ガ集マリマシテ組織スル組合デアリマス、知事ノ認可ヲ受ケテ出來ル組合デアリマスカラ、事業主ガ自分ノ職員ノ住宅ヲ建テヨウト云フ場合ニハ、貸家組合法ノ適用ハナイ譯デアリマス、事業主ガアルダケデアリマシテ、貸家組合ト云フモノヲ組織シテヤル譯デアリマセス、サウ云フ場合ニハ貸家組合ノ方ニ關係アリマセス、又住宅營團ニ頼ンデ造ツタト云フ場合ニ於キマシテハ、住宅營團ハ唯其ノ建築工事ヲヤルト云フダケデアリマシテ、責任者、建

ノナノデアリマスカラ、其ノ場合ニハ免稅ニハナラヌノデアリマス、左様ニ御承知願ヒタイ
○中山委員 一寸議事進行ニ付テ——只今議題ニ上ツテ居リマス二ツノ法案ハ、大體貸家、住宅ノ供給ト、生産力擴充等重要國策ノ完遂ヲ期スル爲メトナツテ居リマスガ、此ノ場合一應議事進行上御尋ネシテ置キタイ、住宅ナルモノ、或ハ貸家ナルモノハ、石造、木造或ハ「セメント」造リト云フ範圍ガ、此ノ二ツノ法律ノ目指ス住宅、貸家ト云フコトニナツテ居リマス、近頃高度國防國家ヲ建設スル爲ニハ、分散都市其ノ他ノ重要項目ガ、政府ノ國策ノ中ニ織込マレテ、指揮命令ニ依ツテアチラコチラニ、點々トシテ建設サレツツアルノデアリマスガ、將來防空國家ノ建設ノ場合ニ於テハ、山ニ對シテ横洞ト云フモノガ相當必要ニナツテ來ル場合ガアル、隨テ一ツノ工廠ガ設ケラレタト假定致シマシテ、其ノ横ニ大キナ山ガアツテ、其ノ山ノ横腹ニ横洞ヲ開ケテ、澤山ノ部屋ヲ拵ヘ、非常時ニハ人ニ貸付ケル、サウ云フ横洞ヲ貸ス場合ノ範圍ハドウナルカ、サウ云フモノノモ之ニ合マレルノデスカ、明確ニシテ置キタイ、住宅借家ノ「コンクリー」ト、木造、石造ト云フモノハ分ルガ、自然ノ山ヲ利用シテ部屋ヲ拵ヘルコトハドウナルカ、住宅、貸家ノ定義ノ範圍ニ入ルカドウカラ伺ツテ置キマス

○熊谷政府委員 御答ヘ申上ゲマス、只今ノ御質問ニ對シテハ、大體ニ於テ木造ヲ狙ツテ居リマス、住宅營團デ狙ツテ居リマスノハ、先程申シマシタヤウナ二十坪以下ノ庶民住宅デアリマス、貸家組合法デ出來マスル住宅モ、大體三十坪ニ制限サレテ居リマス、資材ノ關係ガアリマシテ、原則トシテハ木造家屋ヲ考ヘテ居リマス、住宅營團ト致シマシテ、只今御話ノアリマシタヤウナ横洞ヲ拵ヘルコトハ、只今ノ所考ヘテ居リマセス
○添田委員長 野口君
○野口委員 先程山川君ノ質問ニ依リマシテ、住宅ノ基本對策ノ人口分布、土地配分ノ綜合的調整ト云フ點ハ、大體分リマシタガ、私ハ其ノ人口ノ分布ト土地配分ヲ調整致シマスルノニ、是ハ中央都市計畫ノ方面カラ來ルノデアリマスガ、最近計畫サレテ居リマス所謂國土計畫ノ中ニ含ンデヤラレルノデアリマスガ、ソレヲ一應承リタイト思ヒマス
○兒玉政府委員 先程申シマシタ人口分布、或ハ土地配分ノ調整ト云フコトニ付テ、何ノ中デヤルカト云フコトハ、マダ具體的ニ是デヤルト云フコトヲ決メタモノハアリマセスガ、大體カラ言ヘバ、今御意見ノヤウナ國土計畫ト云フモノニ付テモ、今政府ハ色々研究致シテ居リマス、モウ一ツハ内務省關係ニ於テ、地方都市計畫ト云フモノヲ進メテ居リマス、是等ヲ綜合シテ人口分布、或ハ配分ヲ考慮スル、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス
○野口委員 ソレデハツキリ致シマシタガ、私ハ從來ノ所謂都市計畫ダケノ人口分布並ニ土地配分デハ、一寸困難カト考ヘタカラデアリマス、從來ノデハ到底商業地區、住宅地區、風致區、未指定地區ト云フモノガ、色々「ペーパープラン」的ニ立テラレテ居リマシテ、是ハ國民生活ノ實情ト相即應シテ居ナイ事實ガ澤山アルカラデアリマス、次ニ伺ヒタイト思ヒマスノハ、先程來

一寸話ガ入口マデ來マシタガ、一寸進メタ
イト思フ點ハ、工場經營者ト勞務者ノ住宅
建設ニ關スル問題デアリマス、私ハ京神間
ノ中央ノ、只今ノ最モ殷賑産業地帯ニ生活
シテ居ル者デアリマシテ能ク分ルノデスガ、
職域ニ通フ交通ノ關係ハ、殺人交通ト今言
ハレテ居リマス、ソレハヤハリ工場經營者
ガ、自己ノ會社ノ従業員ニ對シテ、住宅或
ハ住居、宿泊ト云フ點ニ付テ今マデ案外無
關心デアツタカラデアリマス、ソレニ付キ
マシテ、寧ロ工場經營者ニ下級勞務者住宅
ヲ、工場ヲ許可スル不可分の條件トシテ、
建築スル義務ヲ負ハシメタラドウカ、斯ウ
思フ點デアリマス、ソレト同時ニ官廳ノ所
謂下級勞務者デス、是モヤハリ官廳ガサウ
云フ義務ヲ持タレタラドウカ、公共團體相
等シク、斯ウ云フ點ヲ吾々ハ實生活カラ通
シテ考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府當局
ハ之ニ付テ御研究ナサレテ居リマシタカ、
或ハサウデナクテモ御考ヘガアリマシタ
ラ、其ノ御所信ヲ承ツテ置キタイト思フノ
デアリマス

○**兒玉政府委員** 從來ノ住宅解釋ノ行キ方
トシマシテモ、工場勞務者ニ對シマシテハ、
先ヅ事業主ニ建テサセルト云フコトヲ基本
ニシテ進メテ居ルノデアリマスガ、其ノ進
メ方トシテハ資金ノ供給、或ハ資材ノ斡旋
ト云フコトニ付テ、便宜ヲ圖ツテ建テサセ
ルト云フ行キ方ヲ致シテ居リマス、尙ホソ
レデ足りナイ部分ニ付テハ、是亦只今御話
ノ中ニアリマシタ公共團體ニ資金ヲ融通シ、
又損失ヲ補償シテ建テサセルト云フヤウナ
行政的ノ方法モ進メテ居ルノデアリマスガ、
尙且ツ足りナイカラ、一面ニ於テハ特殊營
團ヲ作ツテ、自ら建テヨウト云フコトガ一

ツト、民間ノ貸家業者ニ建テサセル爲ノ貸
家組合法ト云フモノヲ、茲ニ提案ヲ致シタ
譯デアリマスガ、其ノ根本ト云ヒマスカ、
一ツノ土臺ニナル工場ニ付テハ、事業主自
ラガ建テテ貰ヒタイト云フ點ニ付キマシテ、
果シテ今ノヤウニ便宜ヲ圖ルト云フ程度
デ、皆ク行クカドウカト云フコトヲ懸念セ
ラルルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ政
府ノ住宅對策ノ要綱ノ中ニモ、實ハ政府ガ
必要ニ應ジテ——餘リ小サナモノマデト云
フ譯ニモ參リマセスカラ、一定數以上ノ勞
務者ヲ使用スル事業主ニ對シテハ、必要ナ
住宅ノ建築ヲ命令スルト云フコトモ、實ハ
一ツノ施設ノ方針ノ中ニ含シテ居リマス、
更ニ唯單ニ民間ノ事業主ダケデナク、政府
ノ作業場或ハ多數ノ勞務者ヲ使用シテ居ル
政府施設ノ従業員ニ對スル住宅ヲ、政府自
ラ之ヲ建テナケレバナナイト云フコトモ、
實ハ一ツノ施設ノ方針トシテ考ヘテ居ルノ
デアリマスガ、之ヲドウ云フ風ニ命令ヲシ
テ行クカ、ドウ云フ形式デヤツテ行クカト
云フコトニ付テハ、今後ノ推移ニ從ツテ考
ヘタイト思ツテ居リマスガ、或ハ場合ニ依
レバ、總動員法カラデモヤレルデアリマセ
ウ、或ハイケンケレバ更ニ法律モ制定出來
ルカト思ヒマスガ、是モヤハリ推移ニ應ジ
テ其ノ方法ヲ講ジタイ、左様ニ考ヘテ居リ
マス

○**野口委員** 私ハ此ノ際ソレニ附加シテ申
上ゲタイコトハ、各殷賑産業地帯ノ諸會社
ノ利益、ソレガ税制ノ改正其ノ他ニ依ツテ、
大キナ「パーセンテージ」ハ國家ニ收メラレ
テシマツテ居リマス、國防國家建設ノ上カ
ラ、時局認識ノ上カラ、皆喜ンデ納メテ居
リマス、唯一面所謂産業戦士トシテ働イテ

居ル下級勞務者ガ、依然トシテ職域奉公ヲ
シナガラ殺人交通ノ眞只中デ戰ツテ通勤シ
テ居ルト云フコトカラシテ、其ノ大キナ利
益ノ一部ヲ政府ハ割カシメマシテ、徒ニ稅
收入ニスルノミニアラズシテ、其ノ一部ヲ
彼等ノ庶民級住宅建設資金ノ方面ニ充テル
ト云フコトガ、時代ニ即應シテ最モ適策デ
ハナイカト思ヒマスガ、是ハマア大藏省其
ノ他ノ關係ガアリマセウガ、一應厚生省ノ
御考ヘヲ突込シテ聽イテ置キタイト思ヒマ
ス

○**兒玉政府委員** 事業者ガ其ノ利益ノ一部
ヲ割イテ、從業者ノ福利施設ヲ講ジナケレ
バナラスト云フ御意見ハ、洵ニ御尤モト考
ヘマス、只今申上ゲマシタヤウナ、是ハ住
宅關係ニ付テ申上ゲマスレバ、事業主ハ先
ヅ從業者ノ住宅ヲ建テテ貰ヒタイト云フコ
トモ、其ノ一ツノ行方デアリマスガ、之ヲ
國家ガ先ヅ一應徵收シテ、サウシテ福利施
設ニ充テテ行クト云フコトヲ、税金以外ニ
於テ考ヘルト云フヤウナ點ハ、厚生當局ト
シテハ一寸御答ヘヲ申上ゲ兼ネル點デアリ
マスガ、結果ニ於テハ御示シノヤウナ氣持
デ進シデ居ル、斯様ニ御諒承願ツテ置キタ
イト思ヒマス

○**野口委員** 貸家組合ノコトヲ一言承リタ
イノデスガ、此ノ法文ノ案ヨリ行キマス、
貸家組合ハ任意設立ダト思フノデアリマス、
隨テ加入スル、セザルハ、是レ現所有者ナ
ンカハ自由ダト考ヘマス、茲ニ一ツ合法的
脫法ガアルノデハナイカト思フノデス、ソ
レハ九・一八ノ「ストップ」令以前ノ所謂今デ
言フ古家作ハ、家賃ガ停頓ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、利害ノ打算ハ物價低キ當時デ
スカラ、收入ノ上カラ大シテ苦シクアリマ

セス、併シ之ヲ賃貸人ト賃借人トガ特約ヲ
致シマシテ、賣買ノ名義ニ致シ、月賦償還
ノ名義ニシテ、巧ミニ九・一八ヲ逃レテ居ル
ト云フ方法ハ、世間又ナキニシモアラズト
思フノデアリマス、是ハマア取締ノ方面デ
アリマスガ、サウシマスト是ハ任意設立デ
アリマスカラ、隨テ其ノ方面ノ特殊利益ト
シテノ收入ヲ繼續サセテ置カレマスカ、是
ガ本組合ノ任意設立カラ來ル——一面彼等
ト云フト語弊ガアリマスガ、其ノ方々ヲ利
シ、利益ヲ繼續セシムル合法的脫法ガ出來
ルノデハナイカト思フ、斯ウ云フ點ヲ御考
ヘニナリ、任意設立ニサレタノデアリマス
カドウカ

○**熊谷政府委員** 其ノ點モ能ク考ヘタノデ
アリマシテ、貸家組合ヲ作リマシタ理由ハ、
此ノ住宅ト云フモノガ、國民生活上非常ニ
大キナ意味ヲ持ツテ居リ、其ノ供給者デア
ル貸家投資家ノ組合ヲ作ル以上ハ、其ノ組
合ハ相當公益ナモノト見ナケレバナラスト
云フコトカラ致シマシテ、出來ルダケ——
勿論第一ノ狙ヒハ貸家ノ供給デアリマスガ、
賃貸借ノ適正、或ハ賃貸條件ノ適正、其ノ外
貸家建築ニ對スル指導ヲヤツテ行ク積リデ
アリマシテ、貸家組合ガ今御話ノアリマシ
タヤウナコトヲ行フヤウナコトガアリマス
レバ、法文ノ中ニモ適當ナ制裁方法ガアル
ノデアリマスカラ、嚴重ニ一ツ取締ツテ行
キタイト思ヒマス

○**野口委員** 貸家組合ヲ言フノデハナクシ
テ、強制デナイカラ貸家組合ニ加入シナイ澤
山ノ貸家業者ガアリマセウ、家賃適正ノ上
カラ見テ、其ノ取締ガ出來ナイノデハナイ
カ、斯ウ思フノデスガ……

○**熊谷政府委員** 只今ノ點ハ第五條ニ規定

ガアリマシテ、第五條ヲ御覽ニナリマスル
ト「行政官廳貸家ノ經營ノ適正ヲ圖ル爲特ニ
必要アリト認ムルトキハ貸家組合ノ組合員
又ハ其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ其ノ組合
ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者
ニ對シ其ノ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命
ズルコトヲ得」トアリマス、ソレデ貸家組合
ハ組合員ニ對シマシテハ、勿論統制ガ出來
マスシ、統制ニ從ハナケレバ第二十七條ニ
依リマシテ、過怠金ヲ取ルコトモ出來ルノ
デアリマス、又組合以外ノ者ニ對シマシテ
ハ、行政官廳ガ必要ト認ムレバ、統制條件
ニ從ヘト云フコトヲ命ズルコトガ出來ルノ
デアリマシテ、ソレニ違反致シマスレバ、
第四十五條ノ規定ニ依リマシテ制裁ガアル
譯デアリマス

○野口委員 併シナガラ今ノハ所謂民法ノ
自由契約ノ原則デ行カレルト、ヤハリ取締
ハ出來ナイカト思フデスガ、ソレハソレデ
預ケテ置キマス、ソレデ其ノ取締當局ガ、
ヤハリ警察ニナリマスカ、行政官廳當該官
吏ト云フノハ、警察ニナルノデスカ
○能谷政府委員 御答へ申上ゲマス、警察
デハアリマセス

○野口委員 警察デナイト云フコトヲ伺ヒ
マシテ、是ハ最モ宜イコトト思ヒマス、隨
テ此ノ方面ノ、例ヘバ只今マデ「アパート」
ノ如キハ警察ガ取締ツテ居リマス、其ノ色
色ナ細カイコトヲ隨テ御追究申上ゲタイト
思ヒマシタガ、サウデナイト云フコトデシ
タカラ、ソレヲ止メマス、私ハ只今ノ住宅
拂底ノ事實カラ見テ、本法案ノ出マシタク
トハ、早天ニ恰モ雨ヲ望ンダヤウナ氣持ガ、
國民ノ中ニアルト思ヒマスガ、一番心配ニ
ナルノハ資材ノ供給ト思フノデス、當局ノ

御説明ノ中ニ、極メテ資材ノ供給ガ滑カニ
行ク如キ感ジヲ抱カセマシタガ、此ノ事實
ハサウ云フ御言葉ト甚ダ違ツタ結果ヲ生ズ
ルノデハナイカト憂ヘルノデアリマス、或
ハ企畫院、商工省ト十分ニ資材供給ニ對シ
テノ話合ガ付キマシテ、茲ニ健全ナル而モ
完全ナル資材供給ノ確信ヲ得テナサレテ居
ルノデアアルカドウカ、ソレフ一ツハツキリ
承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○能谷政府委員 御話ノ通り住宅營團ニ致
シマシテモ、亦貸家組合ニ致シマシテモ、根
本ノ問題ハ土地ノ問題ト資材ノ問題デアラ
ウト思ヒマス、殊ニ資材ヲ確保スルコトガ
出來ルカ、出來ナイカガ、此ノ仕事ガ圓滑
ニ行クカドウカノ岐レ路デアラウト考ヘマ
ス、隨ヒマシテ只今御話ノアリマシタヤウ
ニ、企畫院ナリ、商工省、農林省ト十分
ノ話合ヲ進メテ居リマシテ、ソレ等ノ各廳
ニ於カレマシテモ、此ノ住宅問題ガ生産力
擴充、或ハ軍需工場ノ關係カラ言ヒマシテ
モ、亦國民生活安定ノ上カラ言ヒマシテモ、
非常ニ大事ナコトデアアル、出來ルダケ一ツ
ヤラウト云フコトデ御贊成ヲ得テ居リマス

○野口委員 企畫院、商工省ノ贊成ヲ得テ
居ルト云フコトニ付キマシテ、資材關係ニ
付テノ或ル程度ノ安心ハ致シマシタ、モウ
一ツノ是ト並行致シマスル必要ナル土地ハ、
私ノ考ヘデハ殷賑産業地帯ニ於テ、各種工
場ガ所謂跋扈シテ居リマシテ、中々好イ住
宅地トシテノ適當ナル土地ノ發見ガ困難デ
ハナイカト思ハレルノデアリマス、是ニ於
テ一ツ明治時代カラ、所謂古イボロ長屋ト
云フノガ各既成都市ニハ皆アリマス、是ハ
先程山川君ノ言ツタ立體建築カラ見マスル
ト、全然今反對ノ結果ニナツテ居リマス、

是等ハ極メテ不衛生的ナ、問題ニナラナイ
貧民街ト云フノガ、到ル處ノ都市ニ必ズア
ルデアリマス、是等ヲ政府ノ力ヲ以テ、國
民ヲ困難サセナイヤウナ程度ノ待遇ヲ致シ
テ買収シテ、茲ニ立體建築ヲスルト云フコ
トハ私ハ必要デハナイカト思フ、ソレハ職
域ニ對スル地理的關係モ、好イ位置ニ在ル
ノデス、而シテ事實今日貧民街ト云フモノ
ハ相當アリマスノデ、斯ウ云フ點ハ相當力
點ヲ以テ、御研究ナサレテ居ルト思フノデ
アリマスガ、如何デアリマスルカ

○能谷政府委員 只今ノ御尋ネノ點ハ、實
ハ不良住宅改善法ト云フノガアリマシテ、
其ノ法規ニ基キマシテ、密集地區ノ極ク不
衛生的ナ、又風紀上下ウカト思ハレルヤウ
ナ點ハ、段々ト豫算ノ許ス範圍デ改善ヲシ
ツツアルノデアリマス、唯非常ニ汚イ住宅
ガ多イカラト云ツテ、ソレヲ叩キ毀シテ新
シク造ルト云フコトハ、此ノ際住宅ノ非常
ニ拂底シテ居ル狀況カラ考ヘマシテ、ドウ
デアラウカト考ヘル次第デアリマス

○野口委員 次ニ心配ニナリマスルノハ建
築技能者デアリマス、事實ハ簡單ニ言フ所
謂職人、大工、左官其ノ他、是等ガドシド
シト工場勤務者ノ方ニ轉向致シテ居リマス、
事實貸家其ノ他家ノ修繕ヲシヨウト致シマ
シテモ、只今ニ於キマスル事實上ノ狀態ハ
職人ハアリマセス、ソレハドウシテナクナ
ツタカ、原因ハ澤山アリマス、工場勤務者
ノ方ガ收入ガ宜イ、モウ一ツハ自分達ノ詰
リ工具、例ヘバ鋸、鉋ト云フ如キモノガ思
フヤウナ良イモノガ手ニ入ラス、色々ト原
因ガ輻輳致シマシテ、轉失業シテ居リマス、
單ナル修繕デモ所謂職人ガアリマセス、政
府ハ此ノ建築技能者ト云フ方面ヲ、餘程御

考ヘニナツテ之ヲ養成スルカ、或ハ現在建
築技能者ノ名簿デモ取ラレテ、是等ニ對ス
ル相當ノ待遇ヲシテ、此ノ住宅政策ニ對ス
ル誤リナイ方法ヲ講ジテ居ラレマスカ、サ
ウ云フ點ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリ
マス

○能谷政府委員 御話ノ通り建築技術者ガ
非常ニ拂底シテ居ルノデアリマシテ、段々
ト工場ノ方ニ行ク者モ多イヤウデアリマス、
建築技能者ノ氏名登錄ト云フヤウナコトハ、
是ハ職業局デ出來テ居ルノデアリマシテ、
マア其ノ名簿ヲ見レバ分ル譯デアリマスガ、
大體ニ於キマシテ現在同潤會ガアリマシテ、
是ハ相當ナ技能者ヲ持ツテ居リマス、ソコ
デ大體斯ウ云フ住宅拂底ノ折柄デアリマス
カラ、技能者モ非常ニ注意ヲシテ集メテ居
リマス、又是ハ豫算ノ中ニモ多少アリマス
ガ、斯ウ云フ貸家ヲ建築スルヤウナ大工等
ノ、他ノ方ノ技術者モ出來ルダケ其ノ豫算
デ、全國五箇所ニ於キマシテ養成スルヤウ
ナ計畫モ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ請
負業者デアリマスガ、是ハ只今住宅ガ少イ、
或ハ物資ノ供給ノ關係カラ相當遊ンデ居ル
ヤウナ者モアリマシテ、サウ云フモノノ中
ノ立派ナ者ハ、出來ルダケ善用致シマシテ
利用シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
リマス

○野口委員 是等ノ仕事ヲサセマスル請負
業者ノコトニ付キマシテ一言申上ゲ、又御
意見ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、
現ニ京濱間ノ請負業者ハ、今政府委員カラ
休ンデ居ルト云フ御言葉モアリマシタガ、
休ンデ居ルト云フ形ヲ呈シテ居ルカモ知レ
マセヌガ、事實ハ金アレドモ物ナシト云フ
點デサウナツテ居リマス、隨テ單ナル請負

契約、或ハ隨意契約デモ、兎ニ角請負ヲ致シマシテ、金ハ持ツテ居リマシテモ、「セメント」ヲ買ハウニモ、釘ヲ買ハウニモ手ニ入ラス、運輸ノ關係カラ「ガソリン」モ手ニ入ラスト云フ所カラ、動キガ付カナイト云フ俗語ニ盡キルノデアリマス、是等ハ餘程御考ヘノ中ニ入レテ、是等ニ特殊ノ便宜ヲ與ヘテ、而シテ後ニ請負ヲセシムルト云フコトデナイト、佛作ツテ魂入レザル結果ニ陥ルト思フノデス、斯ウ云フ點ハ十分研究サレテ居ルト思ヒマスガ、研究セラレテ居ルナラバ、其ノ内容ヲ御聽カセ願タイト思ヒマス

○熊谷政府委員 御話ノ通りデアリマシテ、金アレドモ物ナシト云フコトデ、可ナリ休業状態ニアル者ガ多イヤウニ思ツテ居リマス、先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ住宅營團ノ住宅建築ノ中心ハ物資ニアルノデアリマシテ、物資ニ付キマシテハ、物動計畫ニモ之ヲ計上シテ考ヘテ貰ヒタイト云フコトデ、折角交渉中デアリマス、サウナルデアラウト思フノデアリマスガ、サウナリマスト住宅營團ノ建築ヲ請負ヒマシタ請負師ニ對シマシテハ、政府ガ住宅營團ヲ通ジマシテ配給證明書ヲ出ス、住宅營團ニ向ツテハ、配給ヲスルト云フコトモ出來ルカト思フノデアリマスガ、出來ルダケサウ云フ點ニ、抜カリノナイヤウニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○野口委員 ソレガ仰シヤル通りニ行キマスレバ、是ハ速カニ實現出來ルモノト、大體私等ハ確信ヲ深メテ參リマシタ、最後ニアト二ツバカリ簡單ニ要點ダケ御伺ヒ致シテ見タイト思フノデアリマス、住宅營團ノ住宅ノ坪數ト、ソレニ必要ナル敷地ノ坪數

ト、何カ條件ガアリマスカ、例ヘバ建坪三十坪ナラバ、空地五十坪要ルトカ、建坪十五坪ハ空地二十五坪ヲ要スルトカ、是ハ國防上當然御考ヘノコトト思ヒマスガ、唯庶民級ノ實際生活カラ言ヒマシテ、將來地代ヲ拂フ土地ヲ持ツ、詰リ身分不相應ノ、事實生活ヨリ以上ノ庭ヲ持ツ、大キナ犠牲的負擔ガ永久ニ續クノダ、斯ウ云フ點ガ分譲シテ貰フ時ニ於ケル、第一ノ利害關係ノ打算ダト思フノデアリマス、國防關係ト庶民級ノ實際生活トノ上カラ見テ、十分ニ研究スベキコトト思フノデアリマスガ此ノ點ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○熊谷政府委員 先程申上ゲマシタ二十坪ト十五坪ト十坪ト三段階デヤル積リデアリマス、二十坪ノ家屋ニ付キマシテハ、大體五十坪見當、十五坪ニハ四十坪、十坪ニハ三十坪見當ニシテ事業計畫ヲ立テテ居リマス、其ノ通りナルカドウカ知レマセヌガ、事業計畫トシテハサウナツテ居リマス、只今御話ノ高イ地代ヲ將來拂フヤウニナルト困ルカラト云フコトデアリマスガ、先程カラ申上ゲテ居リマシヤウニ、二十坪住宅ト、十五坪ノ住宅ハ土地附ノ分譲デアリマシテ、二十年後ニハ所有權ガ其ノ人ニ移轉スル譯デアリマスカラ、地代ノ問題ハ起ラナイト思ヒマス、尙ホ十坪ノ住宅ニ付テハ賃貸スルノデアリマシテ、地代ノ關係ガ起ルノデアリマスガ、是ハ住宅營團ガ經營スルノデアリマスカラ、出來ルダケ安ク經營シテ行キタイト思ヒマス

○野口委員 最後ニ全然別個ノコトヲ御伺ヒスルノデスガ、勿論關聯シテ居リマス、住宅營團ノ理事長、理事ト云フコトガ明記セラレテ居リマスガ、國策會社トシテ今マデ隨分

官吏ノ古手ヤ何カラ、重要幹部ニ入レマシタ、其ノ間成功シタノモアリ、成功シナイノモアリ、到ル處ニ色々ノ問題ヲ聞カレノデアリマス、此ノ度ノ住宅營團ハ、大キナ一億以上ノ大資本ノ國策會社デアリマスガ、私等ハ民間ニ有數ノ人材ガ澤山アルト思フノデアリマス、是等ヲ或ハ幹部ニ登用セラレル意思ガアルカ、詰リ人的機構ニ關スル御考ヘヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○兒玉政府委員 住宅營團ノ理事長、副理事長ニ付テハ、ソロ／＼多少物色ハ致シテ居リマスケレドモ、マダ別段今是ト決定ハ致シテ居リマセヌ、隨テドウ云フ方面カラト云フコトヲ只今申上ゲ兼ネマス、畢竟最モ此ノ事業ニ適當シタ人ト云フ程度ヲ申上ゲル外アリマセヌガ、只今御意見ノ點ハ、十分一ツ考慮ニ入レテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○野口委員 最モ適當シタ人ヲ物色願ヒタイト思ヒマス、私ハ之ヲ以テ一時質問ヲ中止致シマス

○添田委員長 ソレデハ丁度十二時ニナリマシタカラ、本日ハ是デ散會致シマス、明後日月曜日午前十時ヨリ開會致シマス
午後零時十分散會

昭和十六年二月八日印刷

昭和十六年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局